

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	成年後見制度活用促進事業			会計	款	項目	大事	小事
				08	03	02	01	01 04
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	早川 仁				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	意図	成年後見制度の利用を促進するため、啓発や支援体制の構築を図る。
事業内容	成年後見制度の利用を促進するため、啓発のための講演会や相談会を実施し、また市民が成年後見制度を活用できるような仕組みづくりについて検討する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成24年度は成年後見制度検討会を開催し、市が取り組むべき方向性について検討し、また啓発のための取り組みを行った。平成25年度からはより具体的な相談対応のため、無料相談会を実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	啓発事業実施件数	4	6	4	人	↑↑↑
②	講演会参加者人数	147	103	82	人	↑↑↑	
③	相談会参加者人数		16	13	人	↑↑↑	
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成26年度は、啓発を目的とし、ケアマネジャー、病院相談員向け研修会を開催し58名が参加した。また、市民向けの講演会を実施し、24名が参加した。 弁護士と社会福祉士による成年後見相談会は全4回開催し、13件の相談があった。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,693,000	3,124,350	2,945,002			
事業費(b)(円)		257,400	329,550	181,296			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		1,435,600	2,794,800	2,763,706			
人役・職員(人)		0.20	0.40	0.40			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性		有効性	目標達成度	
		市関与の必要性		効率性	対象者の適切性	
総合評価						

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	啓発事業の継続とともに、成年後見制度を安定して利用できるような体制の構築について検討する。	③取り組みの課題	市民向けの無料相談会については、多数の申し込みがあり、市民の関心の高まりが確認できた。講演会の適切なテーマの設定及び今後、制度の安定した活用に向けた支援体制の検討が必要
②今年度(H26)に実施した取り組み	市民の方向けに啓発のための講演会に加え、専門職向けの研修会、市民向け無料相談会を実施した。市民後見制度活用に向けてのワーキングチームでの話し合いを行った。	④今後の改善計画	成年後見制度の普及のために、リーフレット等を公民館や福祉会館に置き、市民の方が成年後見制度を知る機会を作る。